

愛称：ユーロ ブーケ

アムンディ・毎月分配ユーロ債券ファンド

追加型投信／海外／債券

第 35 作成期

第171期 (決算日 2019年12月16日)

第172期 (決算日 2020年1月14日)

第173期 (決算日 2020年2月14日)

第174期 (決算日 2020年3月16日)

第175期 (決算日 2020年4月14日)

第176期 (決算日 2020年5月14日)

作成対象期間 (2019年11月15日～2020年5月14日)

| 第176期末 (2020年5月14日) | |
|---------------------|----------|
| 基準価額 | 4,616円 |
| 純資産総額 | 1,143百万円 |
| 第171期～第176期 | |
| 騰落率 | △8.4% |
| 分配金 (税込み) 合計 | 60円 |

(注) 騰落率は分配金 (税込み) を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

●受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚くお礼申し上げます。

当ファンドはこの度、上記の決算を行いました。

当ファンドは、主として、ユーロ建の債券市場 (国債等公共債・国際機関債・社債等) へ投資する外国投資信託、「Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド」と「Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド」の投資信託証券を主な投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。外国投資信託の投資信託証券の組入れ比率は原則として高位を維持します。原則として、為替ヘッジは行いません。

当作成対象期間につきましてもそれに沿った運用を行いました。

ここに運用状況についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

- 当ファンドは、投資信託約款において運用報告書 (全体版) に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。

【閲覧方法】

右記<お問い合わせ先>に記載されているホームページアドレスにアクセス⇒「ファンド情報」メニューから「ファンド・基準価額一覧」 (当ファンドが償還した場合は「償還ファンド一覧」) をクリック⇒当該一覧から当ファンドのファンド名称をクリック⇒運用報告書 (全体版) をクリック

※ホームページ掲載日より5年間は閲覧いただけます。

- 運用報告書 (全体版) は、受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

アムンディ・ジャパン株式会社

〒100-0011 東京都千代田区内幸町1丁目2番2号

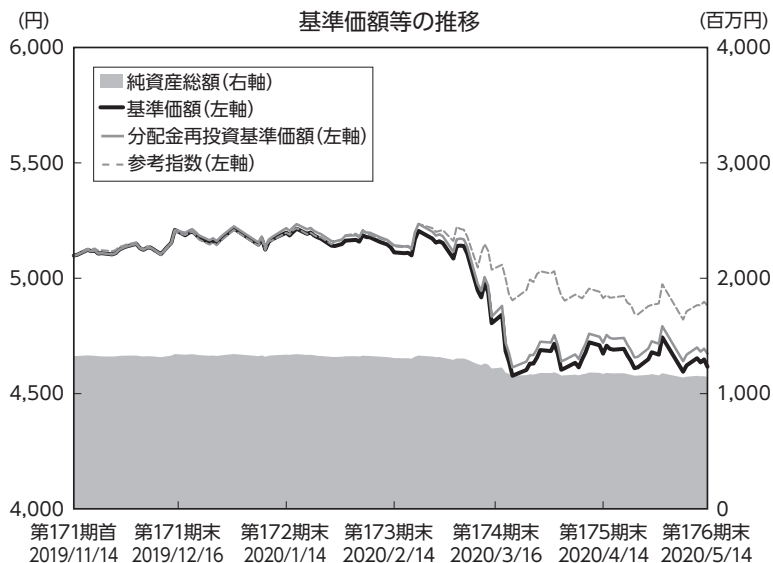
<お問い合わせ先>

お客様サポートライン 0120-202-900 (フリーダイヤル)
受付は委託会社の営業日の午前9時から午後5時まで
ホームページアドレス: <https://www.amundi.co.jp/>

運用経過

基準価額等の推移

| | |
|----------------|----------------------|
| 第171期首 | 5,098円 |
| 第176期末 | 4,616円 |
| 既払分配金 (税込み) | 60円 |
| 騰落率 | △8.4% (分配金再投資ベース) |



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、ブルームバーグ・バークレイズ・ユーロ総合インデックス(円換算ベース)です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2019年11月14日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

基準価額の主な変動要因

下落要因

- ① 2020年2月後半から3月前半にかけて景気後退懸念が高まり、デフォルト（債務不履行）率の上昇見通しおよび流動性の低下を背景に、クレジットスプレッド（国債との利回り格差）が大きく拡大したこと
- ② 欧州で新型コロナウイルスの感染が拡大する中で、イタリアが欧州で最初にロックダウン（都市封鎖）措置を実施したことで、周縁国の対ドイツ国債スプレッドが大幅に拡大したこと
- ③ 2020年2月後半から3月前半にかけて景気後退への懸念から、円高・ユーロ安となったこと

上昇要因

- ① 2020年2月後半から3月前半にかけて新型コロナウイルスの感染拡大を背景にした質への逃避により、金利が低下（債券価格は上昇）したこと
- ② 低成長・低インフレ環境やECB（欧州中央銀行）の社債買入れの再開を背景に、投資家の利回り追求が継続し、2020年2月半ばまでクレジットスプレッドが縮小したこと
- ③ 新型コロナウイルスの景気への影響を抑制するため、世界中の中央銀行・政府が発表した大規模な景気刺激策を背景に、2020年3月末以降、クレジットスプレッドが縮小したこと

1万口当たりの費用明細

| 項目 | 第171期～第176期 (2019年11月15日 ～2020年5月14日) | | 項目の概要 |
|--|---|---|--|
| | 金額 | 比率 | |
| (a) 信託報酬 (投信会社) (販売会社) (受託会社) | 16円 (4) (11) (1) | 0.328% (0.082) (0.219) (0.027) | 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 委託した資金の運用の対価 交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、 購入後の情報提供等の対価 運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価 |
| (b) その他費用 (監査費用) (その他) | 0 (0) (0) | 0.005 (0.005) (0.000) | その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用 信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等 |
| 合計 | 16 | 0.333 | |

期中の平均基準価額は5,008円です。

(注1) 費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注2) 消費税は報告日の税率を採用しています。

(注3) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

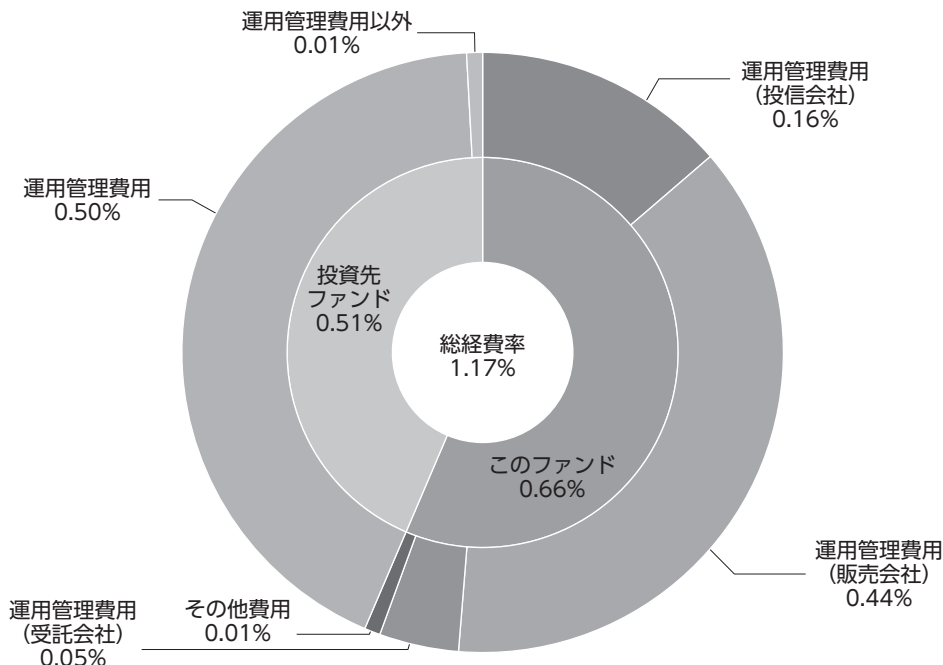
(注4) 各項目の費用は、このファンドが組入れている投資信託証券が支払った費用を含みません。

(注5) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

● 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.17%です。



| 総経費率 (①+②+③) | 1.17% |
|----------------------|-------|
| ①このファンドの費用の比率 | 0.66% |
| ②投資先ファンドの運用管理費用の比率 | 0.50% |
| ③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率 | 0.01% |

(注1) ①の費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

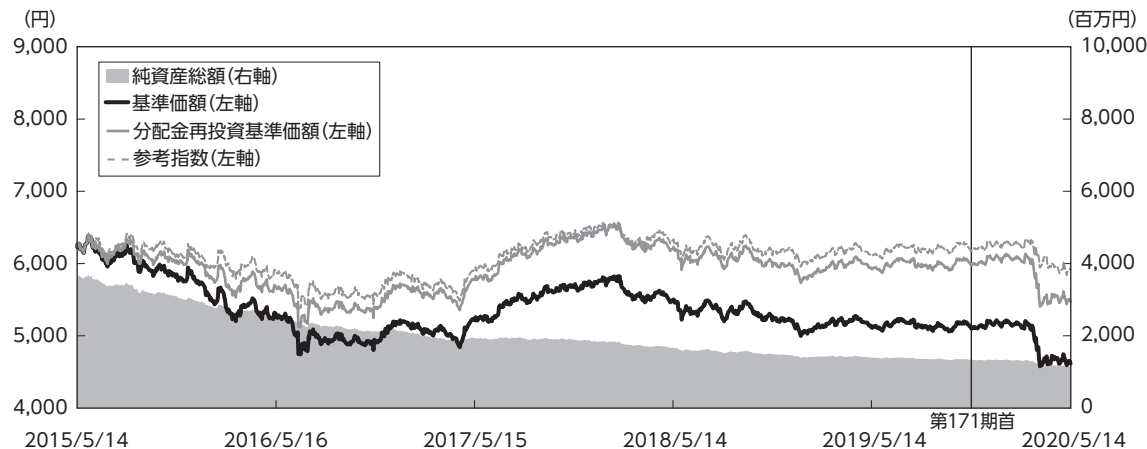
(注4) 投資先ファンドとは、このファンドが組入れている投資信託証券です。

(注5) ①の費用と②③の費用は、計上された期間が異なる場合があります。

(注6) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移

(2015年5月14日～2020年5月14日)



(注1) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

(注2) 実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客様の損益の状況を示すものではありません。

(注3) 参考指数は、ブルームバーグ・バークレイズ・ユーロ総合インデックス(円換算ベース)です。

(注4) 分配金再投資基準価額および参考指数は、2015年5月14日の値を基準価額と同一となるように指数化しています。

最近5年間の年間騰落率

| | 2015/5/14 期首 | 2016/5/16 決算日 | 2017/5/15 決算日 | 2018/5/14 決算日 | 2019/5/14 決算日 | 2020/5/14 決算日 |
|------------------|-----------------|------------------|------------------|------------------|------------------|------------------|
| 基準価額(円) | 6,227 | 5,249 | 5,214 | 5,487 | 5,116 | 4,616 |
| 期間分配金合計(税込み)(円) | — | 420 | 150 | 120 | 120 | 120 |
| 分配金再投資基準価額騰落率(%) | — | -9.4 | 2.3 | 7.5 | -4.6 | -7.6 |
| 参考指数騰落率(%) | — | -5.9 | 0.5 | 7.3 | -3.3 | -3.3 |
| 純資産総額(百万円) | 3,650 | 2,526 | 1,928 | 1,671 | 1,393 | 1,143 |

(注) 参考指数は、ブルームバーグ・バークレイズ・ユーロ総合インデックス(円換算ベース)です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスは、ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社（以下「ブルームバーグ」と総称します。）が公表をおこなうインデックスです。ブルームバーグはブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーの商標およびサービスマークです。バークレイズは、ライセンスに基づき使用されているバークレイズ・バンク・ピーエルシーの商標およびサービスマークです。ブルームバーグ・ファイナンス・エル・ピーおよびその関係会社またはブルームバーグのライセンサーは、ブルームバーグ・バークレイズ・インデックスに対する一切の独占的権利を有しています。

投資環境

〈欧州債券市場〉

当作成期は、2019年に市場を左右した米中貿易摩擦や英国のEU（欧州連合）離脱などのリスク要因に解決の兆しがみられた中、前作成期末からの国債利回りの緩やかな上昇（債券価格は下落）、クレジットスプレッドの緩やかな縮小が継続して始まりました。年が明けても当初は同様の動きに変わりはありませんでしたが、中国での新型コロナウイルスの感染拡大をきっかけに、1月末に市場の下落が起きました。2月以降は欧州でも感染が広がり、感染拡大の抑制を目的とした強力な措置が世界中で取られました。感染拡大による経済への影響に加え、流動性の低下を背景にクレジットスプレッドは大幅に拡大し、国債利回りは質への逃避を受けて大幅に低下しました。3月前半にはS & P 500種指数が1987年以降で最悪のパフォーマンスを示すなど、株式市場を中心としたリスク資産が数日間大きく下落しました。これらに欧州・米国の中央銀行・政府が反応し、過去最大のQE（量的緩和）や財政措置が発表されたことを受けて、2月末から停止状態にあった発行市場は3月下旬に再開しました。金融緩和措置発表後、安心感からクレジットスプレッドは縮小し、国債利回りは上昇に転じたものの、前作成期末対比ではクレジットスプレッドは拡大、国債利回りは低下した水準で当作成期末を迎えました。

〈為替市場〉

当作成期、ユーロ／円相場は120円近辺で取引を開始しました。米中貿易摩擦の緩和や英国のEU離脱に道筋がついたことで円は緩やかに下落し、1月中旬には122円台後半をつけました。1月末に新型コロナウイルスの感染拡大が警戒され始めると円高に振れ、2月下旬まで120円を挟んでやや広いレンジで推移しました。2月末以降、欧州でも感染拡大が広がり、ロックダウンなどの強力な抑制措置が取られました。経済への影響も懸念され、ユーロ／円は乱高下しながら下落が続き、5月初めには114円台半ばを記録しました。その後、感染拡大が落ち着き、ロックダウン措置の解除も議論され始めたことで、やや円安となり115円台半ばで当作成期末を迎えました。

ポートフォリオ

〈当ファンド〉

当ファンドはAmundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンドと Amundi Funds ユーロ・コーポレイト・ボンドに投資することにより、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを目的としています。二つのファンドの投資対象は、ユーロ建の債券市場で取引される国債等公共債・国際機関債・社債等です。

当作成期末の組入比率はAmundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンドが約60%、Amundi Funds ユーロ・コーポレイト・ボンドが約39%、残りが現金等となっています。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド〉

当作成期、当ファンドは一時的に中立程度の金利リスクに変更したものの、全体としてはやや短めのポジションを維持しました。また、中央銀行の金融緩和策等を鑑み、プラスの見方に変更はないものの、2月中には先行き不透明感から社債、物価連動国債などのリスク資産のオーバーウェイトを一部削減しました。当作成期は同リスク資産の下落がパフォーマンスにマイナスに寄与しました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

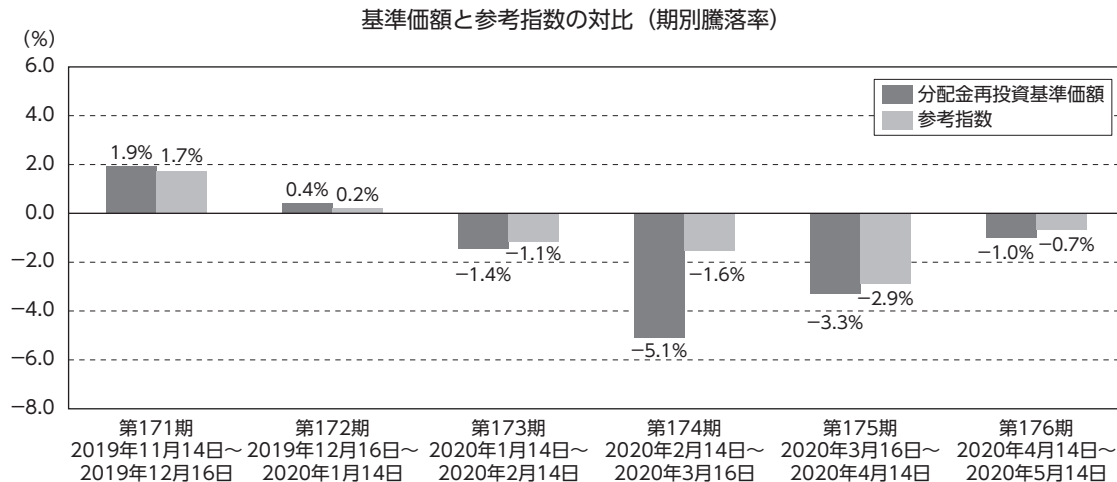
〈Amundi Funds ユーロ・コーポレイト・ボンド〉

当作成期、当ファンドはコロナウイルスの感染拡大を背景に、景気循環セクターやロックダウン措置の影響を強く受けるセクターを削減し、ベータを引き下げました。しかしながら金融劣後債やハイブリッド債のオーバーウェイトは維持しており、これらがリスクオフによるスプレッド拡大で大きくマイナスに寄与しました。

(アムンディ・アセットマネジメント)

ベンチマークとの差異

当ファンドは運用成果の目標基準となるベンチマークを設けておりません。以下のグラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率の対比です。



(注1) ファンドの騰落率は、分配金（税込み）が分配時に再投資されたものとみなして計算したものです。

(注2) 参考指数は、ブルームバーグ・パークレイズ・ユーロ総合インデックス（円換算ベース）です。参考指数は投資対象資産の相場を説明する代表的な指数として記載しております。

分配金

収益分配金につきましては、基準価額水準および市況動向等を勘案した結果、以下のとおり分配を行いました。なお、収益分配に充てず、信託財産内に留保した収益については、委託会社の判断に基づき、元本部分と同一の運用を行います。

分配原資の内訳

(単位：円・1万口当たり・税込み)

| 項目 | 第171期 | 第172期 | 第173期 | 第174期 | 第175期 | 第176期 |
|-----------|-------------------------------|------------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|-----------------------------|
| | (2019年11月15日 ～2019年12月16日) | (2019年12月17日 ～2020年1月14日) | (2020年1月15日 ～2020年2月14日) | (2020年2月15日 ～2020年3月16日) | (2020年3月17日 ～2020年4月14日) | (2020年4月15日 ～2020年5月14日) |
| 当期分配金 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| (対基準価額比率) | (0.192%) | (0.192%) | (0.195%) | (0.206%) | (0.214%) | (0.216%) |
| 当期の収益 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 | 10 |
| 当期の収益以外 | － | － | － | － | － | － |
| 翌期繰越分配対象額 | 2,556 | 2,584 | 2,611 | 2,639 | 2,666 | 2,694 |

- ・「対基準価額比率」は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なる点にご留意ください。
- ・「当期の収益」「当期の収益以外」は小数点以下切捨てで算出しているため、合計が「当期分配金」と一致しない場合があります。

今後の運用方針

〈当ファンド〉

Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンドおよび Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンドの投資比率は、引き続き市場環境に応じて変動させる方針です。

(アムンディ・ジャパン株式会社)

〈Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド〉

新型コロナウイルスの完全な収束にはまだ時間がかかるため、経済への影響も長期にわたるとみられます。ユーロ圏では、債務の相互化が引き続き活発に議論されています。当面はこうした不透明で変動の激しい環境が続くことが予想されます。今後は新型コロナウイルスの感染拡大や経済への打撃が引き続き主な懸念要因ですが、当ファンドでは年後半の緩やかな景気回復を予想しています。景気後退によって、投資適格債からハイイールド債への格下げリスクが高まっていますが、ユーロ建投資適格債は、資金流入や中央銀行による買入れ措置が大きなサポート材料となるとみています。危機直後の魅力的な新発債のプレミアムは無くなりましたが、社債市場への明るい材料を背景に当面配分の拡大を継続する見通しです。

(アムンディ・アセットマネジメント)

〈Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド〉

新型コロナウイルスの感染拡大やそれに伴う経済への打撃が依然として懸念材料ですが、当ファンドは主要中央銀行による緩和政策が金融市場と実体経済の負の連鎖を防ぐと予想しています。主要中央銀行の社債購入プログラムは長期にわたり、主に投資適格の発行体の資金調達環境を大幅に改善させるとみています。また3月下旬以降、大量の新発債が消化されており、同資産クラスへの需要は引き続き堅調です。当面は低金利環境の継続が予想され、社債市場への投資を後押しするとみられます。当ファンドでは金融劣後債、ハイブリッド債のオーバーウェイト、景気循環セクターのアンダーウェイトを継続する方針です。

(アムンディ・アセットマネジメント)

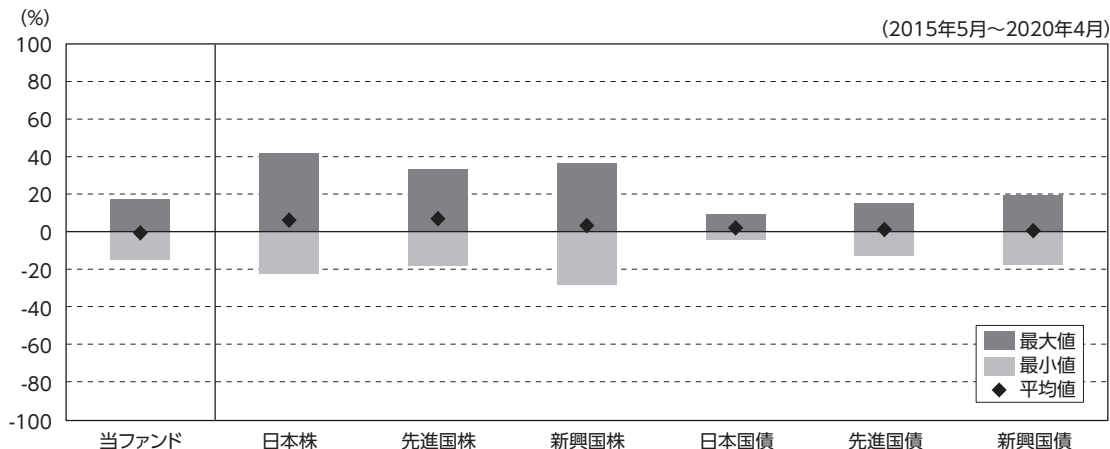
お知らせ

2020年2月15日付で、一般社団法人投資信託協会規則（「投資信託等の運用に関する規則」第23条（公募のファンド・オブ・ファンズの投資制限等））の改正（2009年1月実施）に伴い、当該投資信託の「運用の基本方針／2.運用方法／（3）投資制限」について、投資信託証券への投資制限の一部を削除するため、投資信託約款に所要の変更を行いました。

ファンドの概要

| | | |
|--------|---|--|
| 商品分類 | 追加型投信／海外／債券 | |
| 信託期間 | 2002年11月15日から無期限です。 | |
| 運用方針 | 主として、ユーロ建の債券市場（国債等公共債・国際機関債・社債等）へ投資する外国投資信託、「Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド」と「Amundi Funds ユーロ・コーポレイト・ボンド」の投資信託証券を主な投資対象とし、信託財産の着実な成長と安定的な収益確保を図ることを目指して運用を行うことを基本方針とします。原則として、為替ヘッジは行いません。 | |
| 主要投資対象 | アムンディ・毎月分配 ユーロ債券ファンド | Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド Amundi Funds ユーロ・コーポレイト・ボンド |
| | Amundi Funds ユーロ・ アグリゲート・ボンド | ユーロ建の国債等公共債・国際機関債・社債 |
| | Amundi Funds ユーロ・ コーポレイト・ボンド | ユーロ建の社債 |
| 運用方法 | <p>① 主として、ユーロ債券市場へ投資する外国投資信託の投資信託証券に投資します。</p> <p>② 外国投資信託の投資信託証券を通じて投資する組入対象債券の格付は、原則として最低トリプルB格（BBB-/Baa3）とします。</p> <p>③ 組入対象とする投資信託証券は、変更することがあります。</p> <p>④ 外国投資信託の投資信託証券の組入比率は原則として高位を維持します。</p> <p>⑤ 組入れる外国投資信託の投資信託証券の組入比率やその変更は、委託会社の判断により適宜行います。</p> | |
| 分配方針 | 毎決算時（年12回、原則毎月14日。休業日の場合は翌営業日）に、原則として以下の方針に基づき分配を行います。分配対象収益額の範囲は、経費控除後の配当等収益と売買益（評価益を含みます。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準および市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。 | |

当ファンドと他の代表的な資産クラスとの騰落率の比較



当ファンドと他の代表的な資産クラスの平均騰落率、年間最大騰落率及び最小騰落率

(%)

| | 当ファンド | 日本株 | 先進国株 | 新興国株 | 日本国債 | 先進国債 | 新興国債 |
|-----|-------|-------|-------|-------|------|-------|-------|
| 平均値 | -0.6 | 6.1 | 6.9 | 3.2 | 1.9 | 1.1 | 0.4 |
| 最大値 | 17.2 | 41.9 | 33.3 | 36.7 | 9.3 | 15.3 | 19.3 |
| 最小値 | -14.8 | -22.0 | -18.0 | -27.7 | -4.0 | -12.3 | -17.4 |

(注1) 上記は、当ファンドと他の代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。

(注2) 上記は、2015年5月から2020年4月の5年間の各月末における直近1年間騰落率の平均値・最大値・最小値を、当ファンド及び他の代表的な資産クラスについて表示したものです。

各資産クラスの指数

日本株：東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株：MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

新興国株：MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI国債

先進国債：FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

※詳細は最終ページの「指数に関して」をご参照ください。

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円ベースの指数を採用しております。

- ・ 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。
- ・ 当ファンドは、分配金 (税込み) が分配時に再投資されたものとみなして計算した年間騰落率に基づき計算されており、実際の基準価額に基づいて計算した年間騰落率とは異なる場合があります。
- ・ 騰落率は直近月末から遡って算出した結果であり、当ファンドの決算日に対応した数値とは異なります。

ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容 組入ファンド

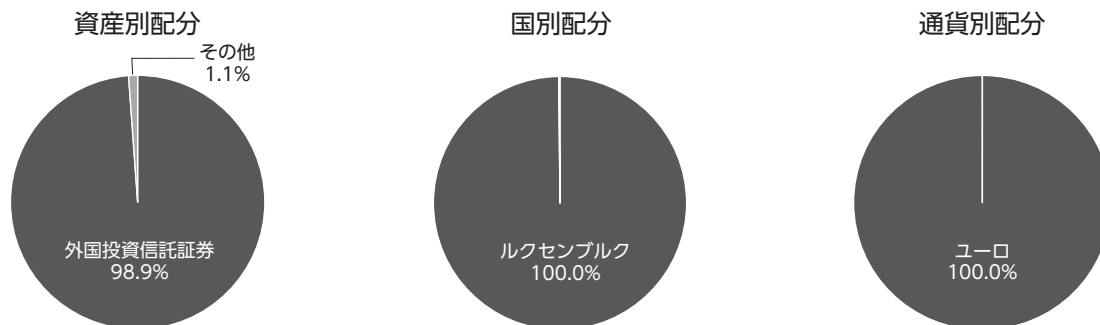
2020年5月14日現在
(組入銘柄数：2銘柄)

| | 銘柄 | 通貨 | 比率 |
|---|-------------------------------------|-----|-------|
| 1 | Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンドー毎月分配クラス | ユーロ | 59.9% |
| 2 | Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンドー毎月分配クラス | ユーロ | 38.9% |

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されております。

種別構成



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

純資産等

| 項目 | 第171期末 2019年12月16日 | 第172期末 2020年1月14日 | 第173期末 2020年2月14日 | 第174期末 2020年3月16日 | 第175期末 2020年4月14日 | 第176期末 2020年5月14日 |
|------------|-----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|----------------------|
| 純資産総額 | 1,336,503,539円 | 1,337,547,818円 | 1,307,244,349円 | 1,225,533,835円 | 1,170,281,339円 | 1,143,292,627円 |
| 受益権総口数 | 2,577,193,483口 | 2,573,827,286口 | 2,557,381,257口 | 2,531,244,779口 | 2,504,564,152口 | 2,476,656,799口 |
| 1万口当たり基準価額 | 5,186円 | 5,197円 | 5,112円 | 4,842円 | 4,673円 | 4,616円 |

※当作成期間（第171期～第176期）中における追加設定元本額は9,160,017円、同解約元本額は132,366,131円です。

組入ファンドの概要

<Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド>

決算日：2019年6月30日

(計算期間：2018年7月1日～2019年6月30日)

「Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド」-毎月分配クラスは、「Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド」にて他のクラスと合わせた合同運用が行われています。

「基準価額の推移」以外の開示情報につきましては、「Amundi Funds ユーロ・アグリゲート・ボンド」の内容を掲載しております。

基準価額の推移 毎月分配クラス



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

2019年6月30日現在
(組入銘柄数：361銘柄)

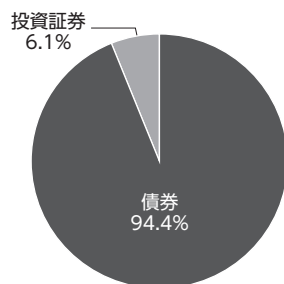
| | 銘柄 | 通貨 | 発行国 | 比率 |
|----|---|-----|---------|------|
| 1 | FRANCE i 0.1% 01/03/2028 | ユーロ | フランス | 6.4% |
| 2 | KINGDOM OF SPAIN 1.4% 30/04/2028 | ユーロ | スペイン | 5.0% |
| 3 | OBRIGACOES DO TESOURO 2.875% 15/10/2025 | ユーロ | ポルトガル | 4.8% |
| 4 | KINGDOM OF SPAIN 1.4% 30/07/2028 | ユーロ | スペイン | 4.0% |
| 5 | BELGIUM 1.70% 22/06/2050 | ユーロ | ベルギー | 3.9% |
| 6 | FRANCE i 0.1% 01/03/2029 | ユーロ | フランス | 3.7% |
| 7 | AMUNDI FUNDS EURO ALPHA BOND - M2 EUR (C) | ユーロ | ルクセンブルク | 3.2% |
| 8 | REPUBLIC OF GERMANY 0.5% 15/08/2027 | ユーロ | ドイツ | 3.2% |
| 9 | TSY INFL IX NB i 15/04/2023 | 米ドル | アメリカ | 2.8% |
| 10 | SPAIN4.65 30/07/25 | ユーロ | スペイン | 2.6% |

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

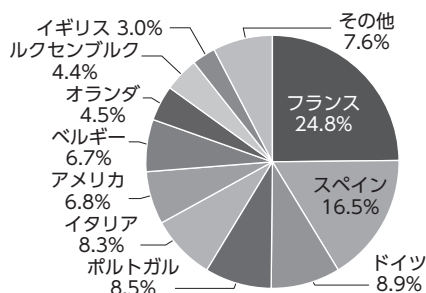
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成

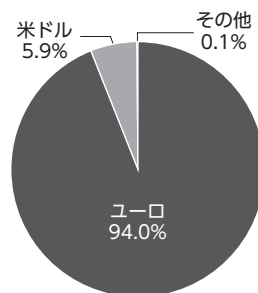
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 直接投資しているのはファンド(受益権)ですが、その先の投資資産を表示しております。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

組入ファンドの概要

<Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド>

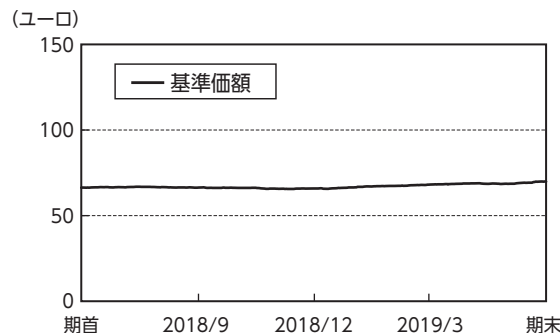
決算日：2019年6月30日

(計算期間：2018年7月1日～2019年6月30日)

「Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド」-毎月分配クラスは、「Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド」にて他のクラスと合わせた合同運用が行われています。

「基準価額の推移」以外の開示情報につきましては、「Amundi Funds ユーロ・コーポレート・ボンド」の内容を掲載しております。

基準価額の推移 毎月分配クラス



(注) 基準価額は、収益分配金を分配時に再投資したものとみなして計算したものです。

組入上位10銘柄

2019年6月30日現在
(組入銘柄数：330銘柄)

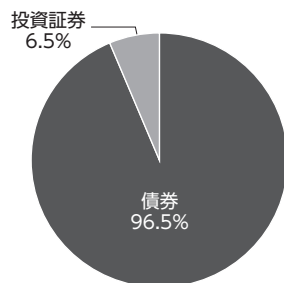
| | 銘柄 | 通貨 | 発行国 | 比率 |
|----|---|-----|------|------|
| 1 | AMUNDI CREDIT EURO-I2 FCP 3D | ユーロ | フランス | 2.0% |
| 2 | Amundi 3 M FCP | ユーロ | フランス | 1.3% |
| 3 | TOTAL SA VAR PERP | ユーロ | フランス | 0.9% |
| 4 | AMERICA MOVIL SAB DE CV 0.75% 26/06/2027 | ユーロ | メキシコ | 0.9% |
| 5 | VOLKSWAGEN FIN SERV AG 0.625% 01/04/2022 | ユーロ | ドイツ | 0.9% |
| 6 | GOLDMAN SACHS GROUP INC 1.375% 15/05/2024 | ユーロ | アメリカ | 0.9% |
| 7 | MORGAN STANLEY VAR 26/07/2024 | ユーロ | アメリカ | 0.8% |
| 8 | UNIBAIL RODAMCO SE 1.75% 01/07/2049 | ユーロ | フランス | 0.8% |
| 9 | DELTA LLOYD LEVENSVERZEK TF/TV 29/08/2042 | ユーロ | オランダ | 0.8% |
| 10 | BNP PARIBAS VAR 10/01/2025 | 米ドル | フランス | 0.8% |

(注1) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

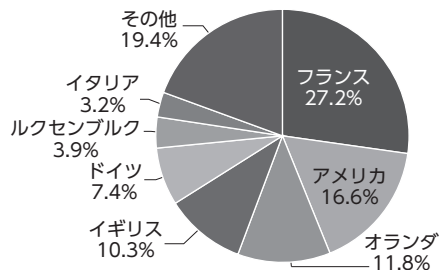
(注2) 全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書(全体版)に記載されております。

種別構成

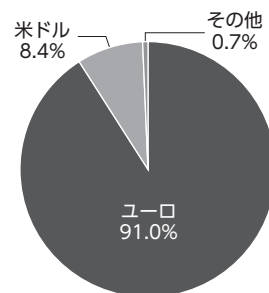
資産別配分



国別配分



通貨別配分



(注1) 資産別配分の比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

(注2) 国別配分および通貨別配分の比率は、ポートフォリオ部分に対する評価額の割合です。

(注3) 直接投資しているのはファンド(受益権)ですが、その先の投資資産を表示しております。

(注4) 比率は、小数点以下第2位を四捨五入しております。

1万口当たりの費用明細

該当情報の取得ができないため、掲載はしていません。

指数に関して

○「代表的な資産クラスとの騰落率の比較」に用いた指数について

• 東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

東証株価指数 (TOPIX) とは、東京証券取引所第一部に上場している全銘柄を対象として算出した指数で、TOPIXの指数値およびTOPIXの商標は東京証券取引所の知的財産であり、同指数の算出、指数値の公表、利用などTOPIXに関するすべての権利およびTOPIXの商標に関するすべての権利は、東京証券取引所が有します。東京証券取引所は、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の方法の変更、TOPIXの指数値の算出もしくは公表の停止またはTOPIXの商標の変更もしくは使用の停止を行う権利を有します。

• MSCIコクサイ・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIコクサイ・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、日本を除く世界の先進国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• MSCIエマージング・マーケット・インデックス (税引後配当込み、円ベース)

MSCIエマージング・マーケット・インデックスとは、MSCI Inc.が開発した株価指数で、世界の新興国で構成されています。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc.に帰属します。また、MSCI Inc.は、同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有します。

• NOMURA-BPI国債

NOMURA-BPI国債とは、野村證券株式会社が公表する、国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表す投資収益指数です。同指数の知的財産権とその他一切の権利は野村證券株式会社に帰属します。

• FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース) とは、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

• JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイド (円ベース)

JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースファイドとは、J.P.Morgan Securities LLCが算出し公表している、現地通貨建のエマージング・マーケット債で構成されている指数です。同指数の著作権はJ.P.Morgan Securities LLCに帰属します。